

OSCE トロイカとアジア・パートナー国との会合発言

(12月7日(金曜日) 9:00~9:30)

議長,

ご列席の皆様,

(冒頭)

- 今次外相理事会の開催に向けてリーダーシップを発揮してきた議長国アイ
ルランドを含むトロイカの努力に敬意を表します。また、今年1年間、アジ
ア・パートナー国との調整にあたってきたアジア・コンタクト・グループ議
長国リトアニアの尽力に感謝します。

- 1992年、ヘルシンキ首脳会合において、我が国は、首脳会合及び外相
理事会を含むOSCEの会合に参加することになりました。本年は、我が国
がOSCEのパートナー国となってから20周年を迎えます。

このような節目の機会に、日本を代表して本理事会に出席できることは光
栄です。

(我が国のOSCEへの関わり)

- 我が国とOSCEは、基本的人権、民主主義、法の支配といった基本的価
値を共有しており、我が国は、安全保障だけでなく、経済、環境、人権、人
道を含む、OSCEの包括的な活動を高く評価しています。

- 我が国のOSCEへの関わりは、大きく二つの柱に分かれます。

- 一つ目は、我が国は、OSCEの会合に積極的に参加しています。首脳会合及び外相理事会については毎回参加しており、私（副大臣）の出席を含め、これまでも可能な限り政務レベルの参加を追求してきました。
- 二つ目は、OSCEが実施するフィールド・ミッションへの協力です。OSCEが、民主化支援の観点から東欧や中央アジア・コーカサス地域等で実施している選挙監視ミッションに関して、我が国は、1992年以降延べ235人の要員を派遣しています。本年は、10月、ウクライナ最高議会選挙とグルジア議会選挙等に選挙監視要員16人を派遣しました。
- これに加え、中央アジアにおける国境管理能力強化、憲法・選挙改革支援を含め、様々なミッションに財政支援を実施してきました。本年は、アフガニスタンにおける女性企業家支援プロジェクト（約80万円）を支援しました。

（今後の方向性）

- OSCEは、有効な対話のプラットフォームを提供するとともに、一つの国が単独で実施するよりも、複数の国で協力することが効果的な分野においてフィールド・ミッションを実施して大きな成果を上げています。また、我が国としては、アジア太平洋地域に多層的なネットワークが構築されていく中で、OSCEが冷戦期を通じて果たしてきた役割や経験を学ぶことは、現代のアジア太平洋地域の安全保障を考える上で少なからず有益と考えており、今後ともOSCEの会合・活動に関与していきます。